

東京スタジアムの会場周辺及びアクセス検討PT（第4回）

議事概要

1 日 時

平成29年6月14日（水） 10時00分～11時00分

2 場 所

都庁第二本庁舎31階 特別会議室27

3 出席者

PT委員 34名

ワーキンググループ委員 34名 計 68名

4 概 要

（1）開 会

（2）オリンピック・パラリンピック準備局次長挨拶

（3）委員紹介（追加・変更）

（4）内 容

①平成28年度 取組概要

事務局から、本PTの平成28年度の取組みについて、概要説明があった。

②ラグビーワールドカップ2019交通輸送実施計画

平成29年度以降の検討スケジュール

事務局から、2019年大会の交通輸送実施計画策定について、今年度からの検討スケジュール及び項目・内容のイメージ（案）に関する説明があった。

③平成29年度の取組

事務局から、平成28年度に抽出された課題と対策の案に対する今年度の検討手法（案）について、鉄道、シャトルバス、歩行者、自動車等の交通手段毎に説明があった。

④ラグビーテストマッチにおける交通輸送について

事務局から、ラグビーテストマッチの概要及びラグビーテストマッチ時の輸送対策と交通輸送調査（案）について説明があった。

(5) 質疑応答

各委員より、以下について意見・質問等があった。

〈鉄道〉

- ・夕方帰宅ラッシュと重なる往路の時間帯が重要であり、早い時間に分散する取組みが有効。
- ・多磨駅ルートの広報・周知を行ったラグビーテストマッチにおける利用状況を見て、多磨駅における対策を考えていきたい。

〈シャトルバス〉

- ・平日の夜間に実施されたサッカー日本代表戦では車両の確保に苦労したが、一日限りのイベントであったので対応できた。
- ・試合が平日の昼間開催になると、路線バスの運行時間帯であるので、車両及び乗務員の確保が厳しくなることを懸念している。

〈歩行者〉

- ・サッカー日本代表戦では、警備・誘導がスムーズに行われた。
- ・混雑の中での車椅子や慣れていない外国人への対応などが、今後の課題になると思われる。

〈自動車〉

- ・スタジアム周辺に集中する交通を面的に分散させるために、通過交通を他に誘導する方法等の検討が必要。
- ・スタジアム通りの路上駐停車については、主催者側の広報やガードマンの配置等の対応が必要。
- ・チームバスについては、試合に遅れるわけにはいかない。時間帯の調整やルートの検討が必要。

以上